

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	平成30年9月3日(月) 19時から21時
会 場	弥生区民活動センター 洋室 3・4号
テ ー マ	区内のみどりの推進
出席者 区 民	計 35人
区 側	区長 政策室副参事(企画担当) 政策室副参事(基本構想担当) 南部すこやか福祉センター副参事(地域支援担当) 環境部副参事(地球温暖化対策担当)
事務局	企画分野職員3人・地球温暖化対策分野職員6人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

テーマ「区内のみどりの推進」

関係部署 地球温暖化対策分野

区長あいさつ

タウンミーティングは本日で4回目であり、テーマを設けて行うのは2回目となる。中野のみどりについて十分に語りたい。南の地域に公園が増えているので、緑被率も上がっていると思われた方もいると思うが、この10年間で、中野区の緑被率は下がっており、今後緑被率を増やしていく必要があると思っている。今回は、それに向けてどうしていけば良いかということをお話したい。

各グループの発表概要

■樹木の保存について

- 東中野の桜並木は残してほしい。
- 保護樹木の所有者に税の優遇措置を設けてほしい。
- 樹木の成長は時間がかかる。樹木を伐採しても新しく植えればよいとする考え方は反対。
- 民間の土地の樹木を残すため、そういった土地を区が公園とする等、環境基本条例の精神を守る施策を行ってほしい。
- 桃園小学校の新校舎建設のため、大きなくすの木が切られる計画になっている。近隣の民地の大きな木は、民間の土地にも関わらず残っている。行政が率先して、大きな木を残していくべきだ。
- 公園ができるのは良いが、公園が出来る前の方が大きい木があったように思う。公園を整備する際は、大きな木を活かしてほしい。
- 平和の森公園の整備計画について、区が示した案には何もしないというものがあった。平和の森公園の自然は、どれも貴重なもので、今のままにしてほしい。
- 民地で樹木などのみどりを保全するために、それを管理する費用の補助を区が行ってほしい。
- 今年の夏も猛暑だったが、樹木があることでヒートアイランド現象を防げる。また、防災上の役割もある。

■みどりを増やす方策について

- もみじ山公園等、既存の公園についても手入れをして、緑を増やしてほしい。
- 中野駅の南北で格差がある。南側にはみどりが少ない。街路樹も少ないと感じる。杉山公園の前の道は広くなったが、街路樹がない。南側のエリアにも力を入れてほしい。
- 家庭菜園や屋上の緑化等を推進してほしい。
- 生態系のみどりと関係がある。鳥の糞害や生き物の遺棄等のマイナス面についても、保健所と連携して考えてほしい。
- 統廃合して使用しなくなった小中学校跡地を売却するのではなく、みどりの保全に活用してほしい。
- 中野坂上は、ビル風が強く、高齢者等が転倒する危険がある。ビルの周辺の木が小さいことも影響しているかもしれない。
- 企業にも、緑に対してもっと目を向けるよう、働きかけてほしい。
- 幹線道路の街路樹を増やしてほしい。

■自然との触れ合いについて

- 中野坂上にあるハーモニースクエアに緑の空間があるが、喫煙スペースがある。子どもの遊び場にもなっているので、問題だと思う。
- 公園で、区民が花を植えたり、みどりと自由にかかわれるようにしてほしい。
- 区民の意識調査「みどりの豊かさ満足度」の10年後の目標指標が65%になっているが、今は、何%か。
- 公園で虫の観察会等を実施すると、親子がたくさん集まる。みどりを増やし、多様な生き物が生息できる場を増やしていくことが、中野区が子育て先進区となることにもつながると思う。

発表に対する区長のコメント

- 東中野の桜は何とか残したいと思っている。
- 民地にある樹木をどう保存していくかは課題だと思っている。
- 桃園小学校のくすの木のは、確認する。
- 東京には緑が少ないと感じている。整備計画を策定する際等には、樹木を残すことを基本姿勢として、樹木の安全性を確認しつつ、検討していきたい。
- 中野区南部には公園を作れるような土地がなかなかないのが現状だが、弥生町6丁目の国家公務員宿舎跡地に公園を新設する予定である。
- 中野区の公園はスポーツができる場所が少ないと思っている。例えば本五ふれあい公園の少年野球場等はニーズがあり、そのスペースを生み出すには、樹木を切る必要もでてくる。そのニーズと樹木の保全との折り合いのつけ方が課題だと思っている。
- 平和の森公園の整備計画の案は、この中からどれかを選択するというものではない。いくつかの案の複合案もありえるし、現状のままがいいという意見でも当然構わない。しかし、すべてを現状のままというわけにはいかないと思っている。腐っている木は安全面から切る必要があるし、夜に見通しが悪く防犯上不都合なエリアもある。樹木については、そういった理由を示していきたい。
- みどりを残すための民地への補助制度は、検討していく必要があると感じた。
- 家庭菜園、屋上の緑化や生垣等、身近なところで、緑を増やしていくのは良いと思う。家庭菜園ができる場所を増やしていきたい。また、ブロック塀を生垣に変えていくことも、防災の面からも良いと思っている。
- 統廃合した小中学校の跡地は、極力、売却しないようにしたい。防災面から、避難所にするのであれば、避難する建物が必要といったこともあるので、その地域の事情を考慮して検討していきたい。
- 区民の意識調査「みどりの豊かさ満足度」は、「よい」「どちらかといえばよい」合わせて、現在60%である。